

事業番号	06 03 06	事業改善シート（24年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	高齢者にやさしい商店街創出支援事業				担当課	部局	商工労働部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト				課・室	経営支援課	
	施策の総合的展開				E-mail	keishien@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	H23	～ H24

1 事業の概要

目指す姿	移動手段を持たず、日常的な買物に支障を来している「高齢買物弱者」の増加が社会問題化しつつある中、高齢者の買物環境の改善とともに、地域商店街等において高齢者を顧客とする新たな経営形態の創出に資する移動販売等の事業の実証を行うことにより、買物弱者支援のための事業モデルの構築を図る。																									
現状	【生活必需品買物環境実態調査結果(平成22年度実施)】 県内の高齢買物弱者数:約5万2千人～8万人 地方中心地域で約1割、中山間地域では約2割存在 《高齢買物弱者の定義》 買物に不便を感じている者で、かつ ①商店が近く(500m以内)にない ②徒歩・自転車で買物に行けない ③自動車を運転できない(しない)																									
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他() 【左記の説明、根拠法令等】 地域の実情に応じ、複数の市町村における様々なモデル事業を実証・検討し、情報共有及び発信を図る必要があるため																									
事業内容	① 成果目標(H24)																									
	・高齢買物弱者支援にかかる県内各地の取組へのモデル事例とするため、県内3箇所において高齢買物弱者を支援するための事業を実証し、各事業における課題や今後の展開を整理する																									
事業内容	② 事業内容 (単位:千円)																									
	項目	実施方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H24事業実績</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モデル事業の実証委託</td> <td>委託</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>モデル事業支援委員会の開催</td> <td>直接</td> <td>222</td> <td>166</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>3,222</td> <td>3,166</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	H24事業実績		H24	H25			(当初)	(決算)	(当初)	モデル事業の実証委託	委託	3,000	3,000	0	モデル事業支援委員会の開催	直接	222	166	0	合計		3,222	3,166
H24事業実績		H24	H25																							
		(当初)	(決算)	(当初)																						
モデル事業の実証委託	委託	3,000	3,000	0																						
モデル事業支援委員会の開催	直接	222	166	0																						
合計		3,222	3,166	0																						

区	分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25年度
	予算額	前年度繰越				
	当初予算			3,222	3,222	
	補正予算					
	合計(A)	0	3,222	3,222	0	
Aの財源	国庫支出金					
	県債					
	その他()					
	一般財源	0	3,222	3,222	0	
決算額(B)			3,222	3,166		
概算人件費	職員数(人)		0.20	0.20		
	概算人件費(C)	0	1,652	1,652	0	
	概算事業費(B(A)+C)	0	4,874	4,818	0	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
実証委託箇所(箇所)	3	3	3	達成	—
支援委員会開催(回)	3	3	3	達成	—

目標に対する成果の状況	地方周辺地域及び中山間地域に位置する県内3地域において、各地の実情に沿った移動販売(移動市、各戸巡回)事業を実施した。事業実施計画及び実施状況を検証・分析し、より実効性の高いモデル事業とするために適切な助言を行う「高齢買物弱者支援モデル事業支援委員会」を適時(3回)開催した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 買物弱者支援に向けた事業モデルの構築として一定程度の成果を得たため、当年度をもって事業は終了とする。高齢化等により生じる様々な課題の解決に向け、商店街に期待される役割が高まる中、今後は当モデル事業及び県内の買物弱者支援に向けた取組事例の情報発信や、地域や住民のニーズに対応した魅力的な商店街づくりを支援することで、買物弱者支援に向けた県内気運の醸成を図りたい。
---------------------	---